

第五次環境基本計画 中間取りまとめの概要

環境・経済社会の状況と課題

<世界の状況>

【環境】

- ✓ 地球環境の悪化
(プラネタリー・バウンダリー)
- ✓ 持続可能な開発目標(SDGs)を含む「2030アジェンダ」の採択
- ✓ パリ協定の採択・発効

【経済社会】

- ✓ 人口増大、経済発展、都市移住の増大による問題が深刻化
- ✓ 保護主義の動き・新興国の台頭
- ✓ IoTやAIなど急速な技術革新により幅広い分野で新たな技術イノベーションの可能性

<日本の状況>

【環境】

- ✓ 温室効果ガス排出の漸減(2050年80%削減目標)
- ✓ 資源生産性の向上
- ✓ 生物多様性の状態は依然として長期的悪化の傾向

【経済社会】

- ✓ 人口減少・少子高齢化
- ✓ 地方の疲弊・衰退
- ✓ 森林劣化や温暖化等による自然災害の増大
- ✓ IoTやAIの急速な普及により大量生産・大量消費・大量廃棄の形態が転換する可能性

【現在の環境政策の課題】

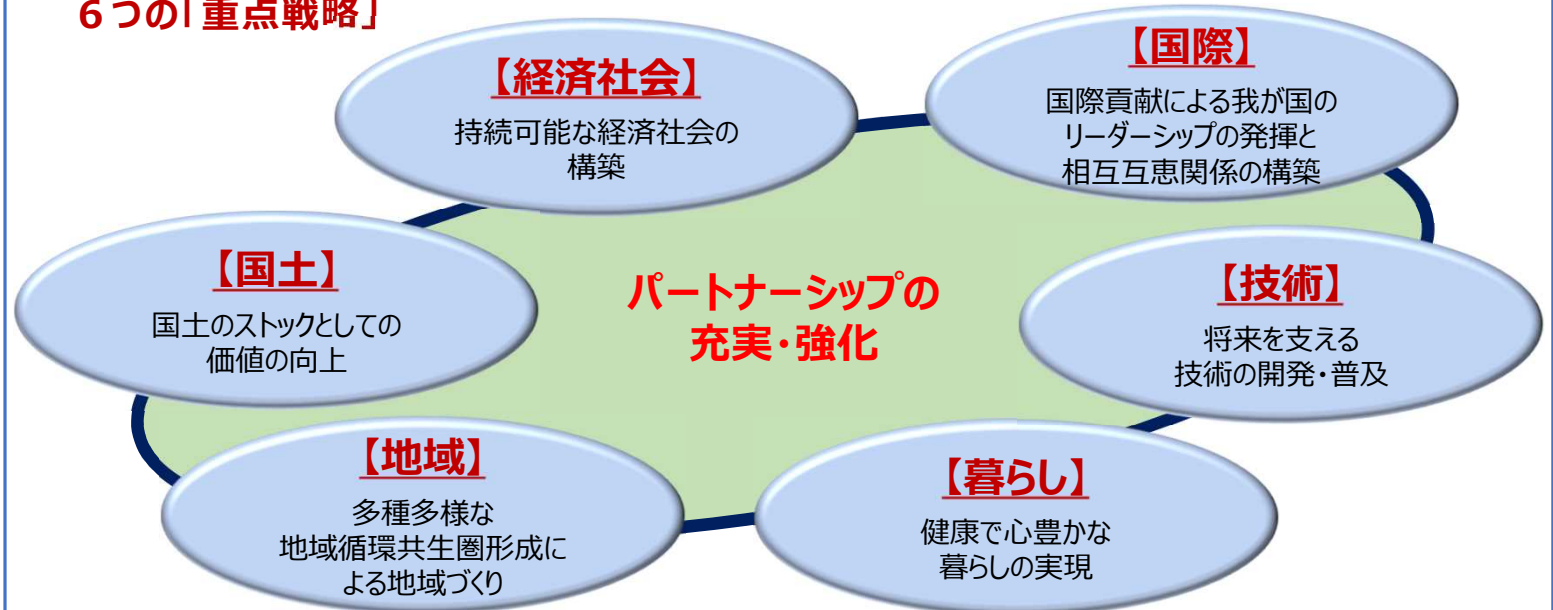
- ✓ 経済社会での環境配慮の主流化
- ✓ 自然資本の活用
- ✓ 各地域レベルでの課題解決
- ✓ 環境保全上のリスクの減少
- ✓ 環境研究・技術開発と普及
- ✓ 我が国の知見、技術の開発途上国への共有

- 地球の危機が顕在化しており、人類・文明の転換期と言って良い。そのため、従来の対策の延長ではなく、**根本的な発想の転換が必要**。
- SDGsの考え方を活用し、**環境・経済・社会の統合的向上を具体化**するため、**6つの重点戦略を進める**。
- これにより、**経済社会システム、ライフスタイル、技術の「イノベーションを創出」**するとともに、環境政策を通じて、**経済・社会的課題を「同時解決」**する。

環境政策の展開

具体化のイメージ

6つの「重点戦略」



【重点戦略を支える環境政策】

環境教育、環境保健対策、環境影響評価、環境情報整備 等

【自然災害及び大規模複合災害への対応】

東日本大震災を中心に、自然災害及びそれにより引き起こされる災害に対して環境の面から取り組むべき事項

社会システム、ライフスタイル、技術の「イノベーションの創出」

環境政策を通じた経済・社会的課題の「同時解決」

新たな成長

持続可能な社会（循環共生型社会）